



5月16日(火)

## 愛するために召された

聖書朗読 マルコ 9:38~41

あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。

マタイ 25:40

私たちの文化、音楽、本、映画などは、愛はただの感情だと教えます。熱したり冷めたり、大きな事故のようなもの。でも、それは聖書の教える愛ではありません。

愛は、人との関わりの中の一瞬で感じる気持ちや、儂い感情ではありません。愛は選択です。愛は行いです。

私たちは、娘たちに愛は何であるかを教えてきました。私たちは、家族で交替で洗濯物を畳んだり、食器を洗ったり、モップ掛けをしたりします。私は娘たちに、何かをお互いにしてあげることで、愛を表すこともできると教えています。愛していると、ただ言葉だけで言うのは誰にでもできます。でも、食器を洗ったり、洗濯物を畳んだり、モップ掛けをすることは、家族に愛を表す素晴らしい方法です。

イエスは、コップ一杯の水で、“愛している。”と伝えることができると教えられました。コップ一杯の水、親切な言葉、ハグなどは、イエスの御名によって行われる時、全て霊的な行いとなり得るのです。

イエスは、愛しなさいと教えられました。何があっても、全ての人をです。それを実践出来たら、この世界は素晴らしい場所になるとは思いませんか？

讃美歌 87B

祈り 親愛なる主よ。私たちが、全てのことに愛をもって行うことができますように。あなたのお名前によって、人々にそのコップ一杯の水を与えることができますように。私たちが、全てのことをあなたの栄光のために行うことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ハンツビル  
ジェフ・ダン

5月17日(水)

## 悲しみの中にある喜び

聖書朗読 ルカ 2:1~14

御使いは彼らに言った。“恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。”

ルカ 2:10

心配、恐れ、不安などは、病院の待合室に座っている時に、誰もが感じる普通の感情です。友人が手術を受けた後、私たちは、待合室にいる彼の奥さんをたずねました。彼の状態は良くありませんでした。私たちは、弱った状態にあった彼を心配しました。私たちが話していると、待合室に、“ブラムスの子守歌”が流れてきました。20分ほど経った時、またその曲が流れてきました。その街で一番大きなその病院は、そこで赤ちゃんが生まれる度に、“ブラムスの子守歌”を流していました。それは何て素晴らしいことでしょう。それは、私たちが痛み、苦しみ、悲しみ、悲嘆の中にあっても、喜びや希望を持つ理由があるのだと思わせてくれます。

二千年前、大きな喜びをもたらすもう一人の赤ちゃんが生まれました。それは、ただの誕生ではなく、人類の歴史の中で、最も重要な誕生でした。高級な病院の個室ではなく、この誕生は、汚れた馬小屋で起こりました。この誕生の喜びは、家族だけでなく、全ての人に与えられたものでした。“ブラムスの子守歌”が誕生を知らせる代わりに、天の軍勢が神を賛美して歌いました。

この誕生は、世界を変えました。イエスは今日も、私たちが苦しみや不安にある時でも、喜びを与え続けてくださいます。

讃美歌 280

祈り お父様。ひとり子をこの世に送ってくださってありがとうございます。イエスが与えられる喜びは、今現在だけでなく、天国にある永遠の命を期待させてくれます。イエスのお名前によって。アーメン。

オクラホマ州 エドモンド  
サリー・ジェーン・シャンク

5月18日(木)

## 私達の荒野での時間

聖書朗読 ルカ 4:1~13

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。

箴言 3:5

自然を取り上げた番組は、とても興味深いものです。それは、命の根本的な部分を表します。捕食者は、命を繋ぐ食事を求めて獲物を付け狙います。スピード、力、そして、能力が生と死を決定付けます。肝心なのは、生存競争で、簡単なものではありません。最も獲物になりやすいのは、群れから離れてしまった弱い動物です。

イエスが過ごされた荒野での時間は、とても大変なものでした。イエスの敵は、血と肉を求めてはいませんでした。サタンは、霊的な勝利を求めていました。サタンは、イエスが弱く、一人で脆弱な時に、イエスを捕らえようとしていました。勝利を収められたイエスを、主に讃えます。

クリスチャンの人生も、自然の生存競争から免除されてはいません。試練にある時、私たちの信仰が弱められる可能性があるのです。敵は、信仰とは別の道を歩むように誘惑します。イエスとの道をあきらめれば、もっといい人生が送れると約束します。荒野は困難な場所です。でも、私たちは一人ではありません。

主は、どんな時にあっても、私たちと共に歩んでくださいます。主は聖霊を通して、教会の家族との交わりを通して、私たちと共にいてくださいます。喜ばしいことに、荒野で過ごす時でさえも、私たちは一人ではないのです。

讃美歌 248

祈り 主よ、困難にある私たちを導いてくださる、あなたの忠実な愛に感謝いたします。素晴らしいお方であるあなたを愛し、讃えます。イエス様のお名前によって。アーメン。

アラバマ州 ハーベスト

マイケル・ブラウン

5月19日(金)

## 主よ、見えるようにして下さい!

聖書朗読 ルカ 18:35~43

彼はたちどころに目が見えるようになり、神をあがめながらイエスについて行った。これを見て民はみな神を賛美した。

ルカ 18:43

私は、福音書の中に書かれている、イエス様の癒しの奇跡の話が大好きです。これらの話を読む時、神が人々を癒すことができになるお方であること、つまり神が全ての力を持っていらっしゃるお方であることが良く分かるからです。神は私たちが完全なものとされることを喜んでいて、それを可能にして下さる力のあるお方です。

しかし、それにもかかわらず、イエス様は、病んでいる全ての人を癒されはしませんでした。つまり、それはどうしてかと言いますと、イエス様がこの世に来られた第一の目的は病んでいる方を癒すことではなかったからです。イエス様が行われた癒しの奇跡は、イエス様が神からのお方であって、全能のお方であり、癒しを与える力と権限をもっておられることをお示しになるためのものでした。

イエス様は、エルサレムに向かう途中のエリコに近づいたところで盲人に出会いました。マルコによる福音書によると、盲人の名前は“バルテマイ”でした。イエス様がバルテマイに何をしたいか尋ねると、彼はすぐにこう答えました。「主よ。目が見えるようになることです。」彼は盲目で、暗闇の中で生きることがどんなことであるか知っていました。彼は、何が欲しいかを知っていて、イエス様に助けを求めました。

この話は、ハッピーエンディングで終わります。イエス様は彼を癒されて、彼はイエス様に従い、神を讃えながらイエス様について行きました。彼は身体的に盲目でしたが、多くの人たちも、イエス様に従う道を選んだ時に、霊的な盲目を癒されました。イエス様が望んでおられたのは、身体の癒しよりも霊的な癒しをお与えになることだったかからです。

讃美歌 讃美歌 21 124

祈り お父様。あなたがくださる色々な機会に、私たちが目を開くことができますように。あなたの癒しの奇跡に感謝いたします。しかし、何よりも霊的な癒しのなかで、あなたの御名が讃えられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

サウスカロライナ州 アーモ

フィリップ・イチマン

5月20日(土)

## 罪人の友であるイエス

聖書朗読 ルカ 19:1~10

この人は、罪人たちを受け入れて、食事までいっしょにする。

ルカ 15:2

驚異的です！人であった創造主は、埃の舞うこの地上の道を歩き、皆から嫌われる男の家に入っていました。

イエス様が徴税人との関係を批判されたのは、ルカによる福音書の中で、これで三回目でした。イエスは徴税人の友となることで、代償を支払うことになるかもしれませんが、でも、イエスはザアカイの救いのために、私たちの救いのために、もっとも大きな代償を払って下さいました。

イエスもザアカイも、共に何かを求めていました。イエスは失われた者を探し求められ、ザアカイはイエスの姿を見ることを求めました。イエスもザアカイも、“あなたこそが私の求めていた人です！”と互いに言い合うことができたのです。

ザアカイは、イエスを一目見るために前に走って行って木に登ったほど熱心で、イエスを大喜びで家に迎え入れる熱意をもち、人生を変える準備ができていました。そんなザアカイには、豊かな報奨が与えられました。イエスは、たとえ話に出てくる羊飼いのように、「いなくなった羊を見つけましたから、いっしょに喜んでください。」(ルカ15:6)と言ったことでしょう。

聖歌 429

祈り お父様。罪人を探し求めるために、ひとり子を送ってくださり、ありがとうございます。そして、私たちを含む全ての、ひとり子が見つげられた一人一人のために感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 コマース  
デイビッド・ギブソン

5月21日(日)

## 小さな物の大きな価値

聖書朗読 ルカ 21:1~4

“金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。”

使徒 3:6

貧しいやもめが献金をした短い話の中で、イエスが嫌った二つの態度があります。一つ目は、大きい捧げものができるという経済的に裕福なゆえに霊的にも素晴らしいと思っている金持ちのプライド。二つ目は、小さな物しか捧げられない、小さなことしかできないという、貧しい人の自分自身に対する過小評価。

私たちは、小さな物、日々の小さな行いの価値を理解しなくてはなりません。洋服のアイロンがけ、庭の手入れ、カードを送ること、外出できない人のために食事を持って行ってあげること、子供たちのスポーツの試合や音楽会を見に行くこと、近所の家の歩道の雪かきをしてあげること、「ありがとう」そして、「ごめんなさい」ということ。これらの親切な行いの一つ一つは、捧げものです。励ましの言葉は私たちの中におられる神の姿を表す命の贈り物です。そして、全ての善い行い、励ましの言葉を神は喜ばれます。

クリスマスソングの“リトル・ドラマ・ボーイ”にあるように、私たちは、“持参する品もありません。”とってしまうかもしれません。でも、小さな物にこそ神は大きな価値を見出されると、イエスは私たちに伝えてくださっています。

讃美歌 259

祈り 親愛なる父よ。たとえ私に納屋いっぱい穀物があっても、数粒のからし種しかなかったとしても、信仰にある確信をもって、豊かに捧げることができますように。キリスト様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 マリブ  
ティム・ウィリス